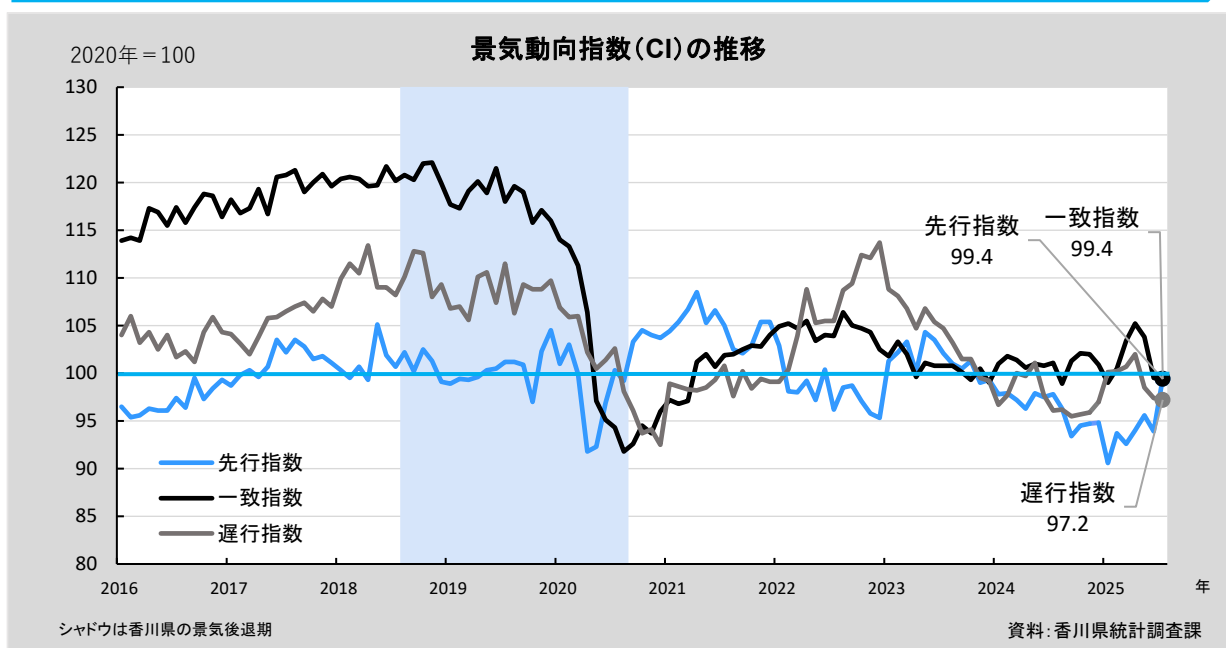


概況	持ち直している。
個人消費	緩やかな増加基調にある。
住宅投資	低調に推移している。
公共投資	持ち直しの動きに弱さがみられる。
生産活動	横ばい圏内の動きとなっている。
雇用情勢	緩やかに持ち直している。
貿易	輸出、輸入ともに増加している。
観光	持ち直しの動きが続いている。

景気動向指数(かがわ CI)

一致指数 3 カ月連続下降



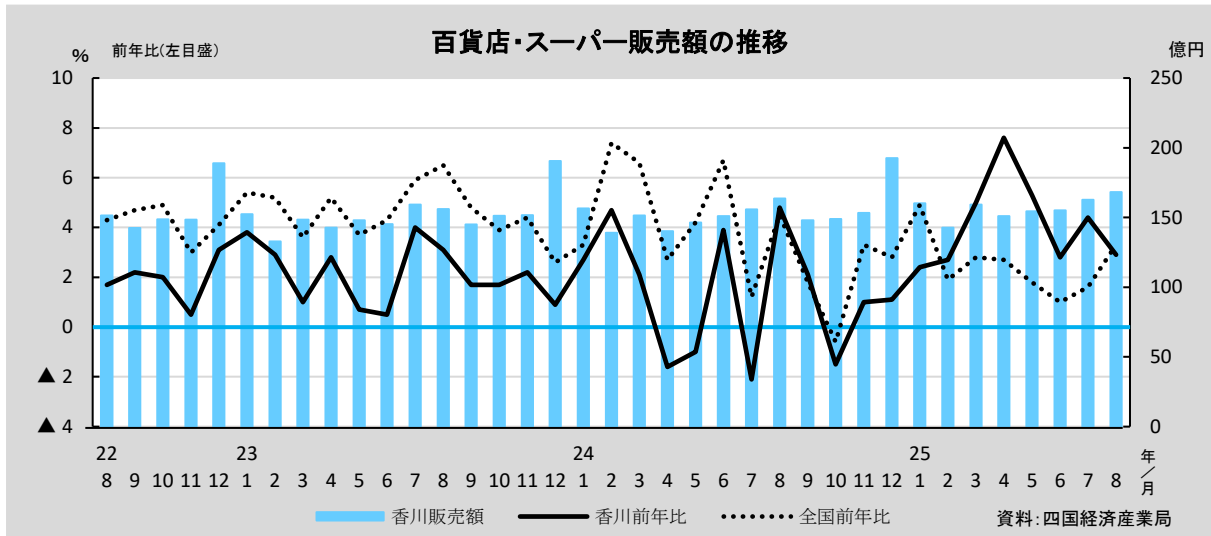
景気の現状をみると、7月のCI一致指数は99.4（前月比▲0.1ポイント）と3カ月連続で下降。CI先行指数は99.4（同+5.5ポイント）と2カ月ぶりに増加。CI遅行指数は97.2（同▲0.2ポイント）と3カ月連続で下降。

景気の現状を示す一致系列の個別指標では、雇用保険受給者実人員、鉱工業出荷指数等が下降に寄与し、前月から0.1ポイントの下降となった。

採用 景気 指標	先行系列		一致系列		遅行系列	
		寄与度		寄与度		寄与度
	1 新規求人数	1.06	1 雇用保険受給者実人員	▲ 1.00	1 常用雇用指数	0.40
	2 乗用車新車登録台数		2 有効求人倍率	0.17	2 有効求職者数	▲ 0.50
	3 鉱工業在庫率指数	▲ 0.06	3 所定外労働時間指数	▲ 0.20	3 消費者物価指数	▲ 0.25
	4 新設住宅着工戸数	1.93	4 鉱工業生産指数	0.19	4 家計消費支出	▲ 1.10
	5 金融機関貸出残高	3.11	5 鉱工業出荷指数	▲ 0.21	5 鉱工業在庫指数	0.82
	6 消費者態度指数	▲ 0.60	6 建築着工床面積	0.86	6 法人事業税調定額	▲ 0.21
			7 百貨店・スーパー既存店販売額	0.18	7 第3次産業活動指数	0.55

●百貨店・スーパー販売額

10 カ月連続増加 ↑

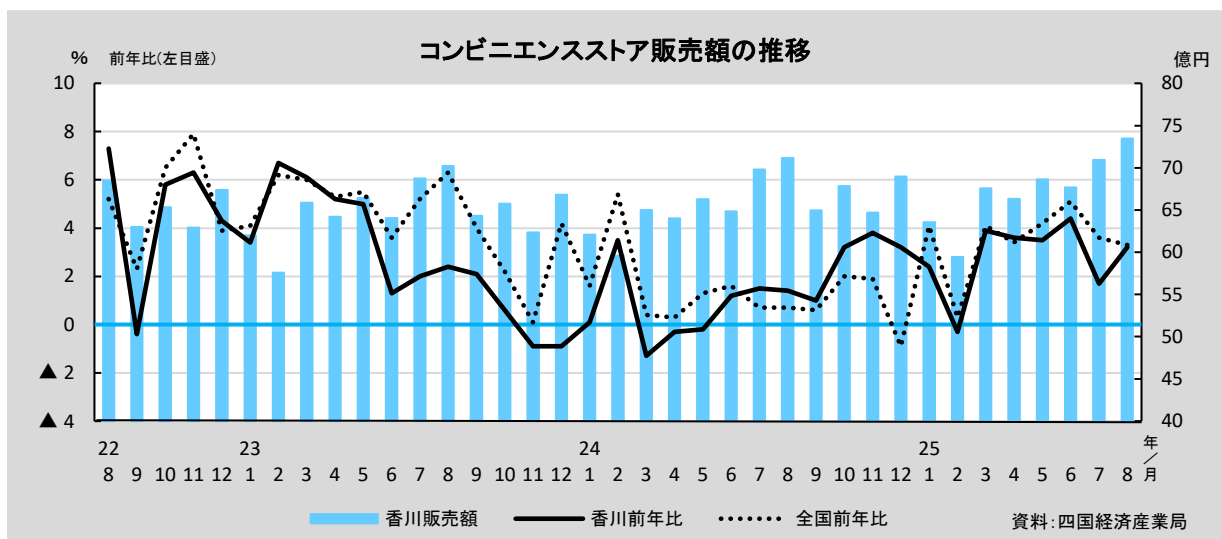


2025/8月	衣料品	身の回り品	飲食料品	家具	家庭用 電気機械器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額（万円）	812	682	12,843	18	47	738	1,684	6	16,830
前年同月比（%）	3.2	7.7	3.3	6.7	▲ 9.8	▲ 3.8	1.2	17.5	2.9

8月の百貨店・スーパー全店（89店）の販売額は168.3億円で、前年同月比+2.9%と10カ月連続で増加した。「飲食料品」は米の高値が続いているほか、冷凍食品や総菜が堅調に推移したことなどから同+3.3%、「身の回り品」はインポートバッグなどが好調で同+7.7%と前年を上回った。一方、「家庭用品」は同▲3.8%と減少した。

●コンビニエンスストア販売額

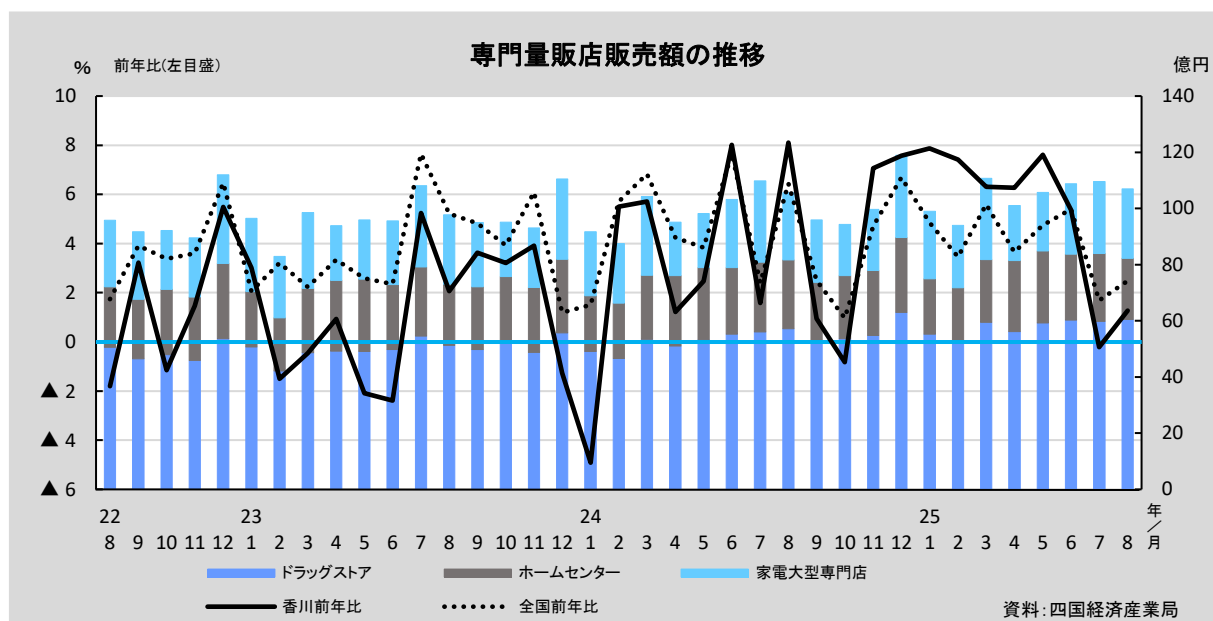
6 カ月連続増加 ↑



8月のコンビニエンスストア全店（407店）の販売額は73.5億円で、前年同月比+3.2%となり、6カ月連続で増加した。

●専門量販店販売額

2 カ月ぶり増加 

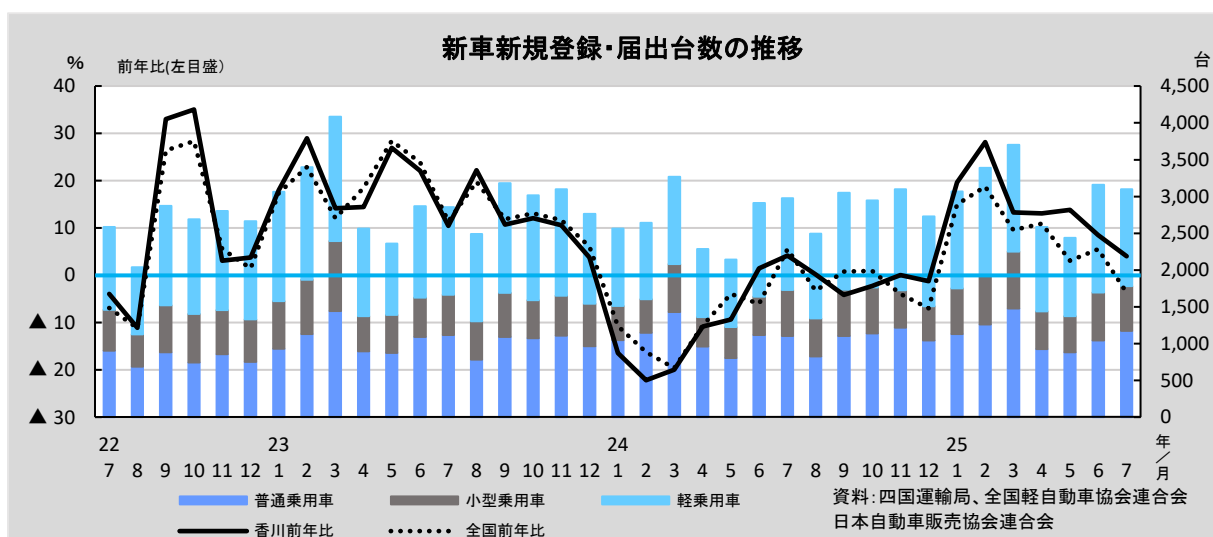


8月の専門量販店全店（231店）の販売額 107.0 億円で、前年同月比+1.3%と2カ月ぶりに増加した。

業態別にみると、**家電大型専門店**（27店）の販売額は 24.7 億円で前年同月比+3.1%となった。**ドラッグストア**（158店）の販売額は、60.4 億円で同+5.8%となった。**ホームセンター**（46店）の販売額は、21.8 億円で同▲11.0%となった。

●新車新規登録・届出台数

7 カ月連続増加 



7月の乗用車（普通・小型・軽）新車販売台数は 3,097 台で、前年同月比+4.1%と7カ月連続で増加した。

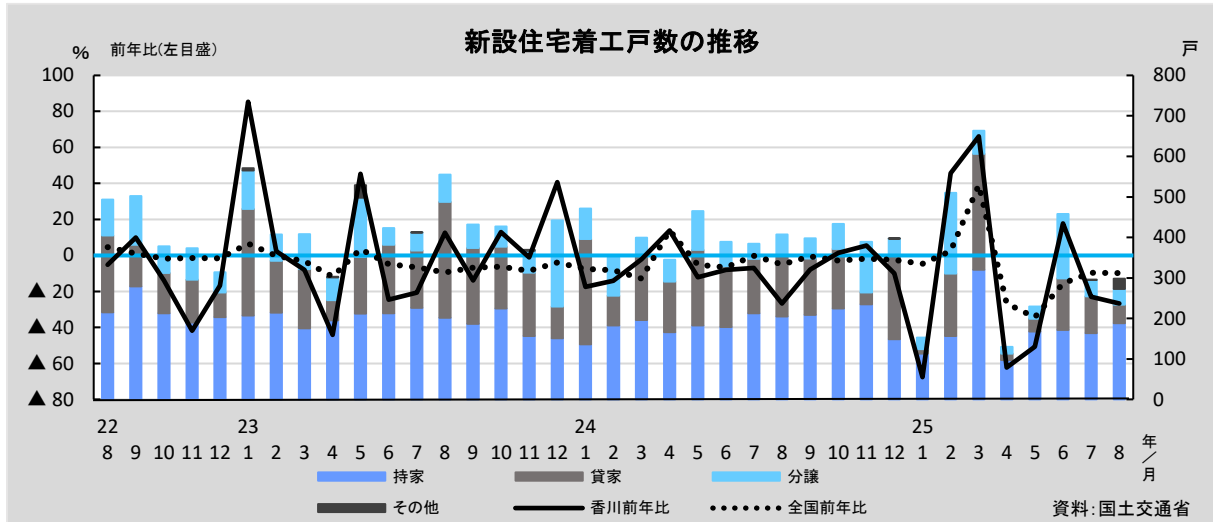
車種別にみると、普通乗用車は前年同月比+6.4%、小型乗用車は同▲2.9%、軽乗用車は同+5.5%となった。

住宅投資

低調に推移している

●新設住宅着工

2 カ月連続減少



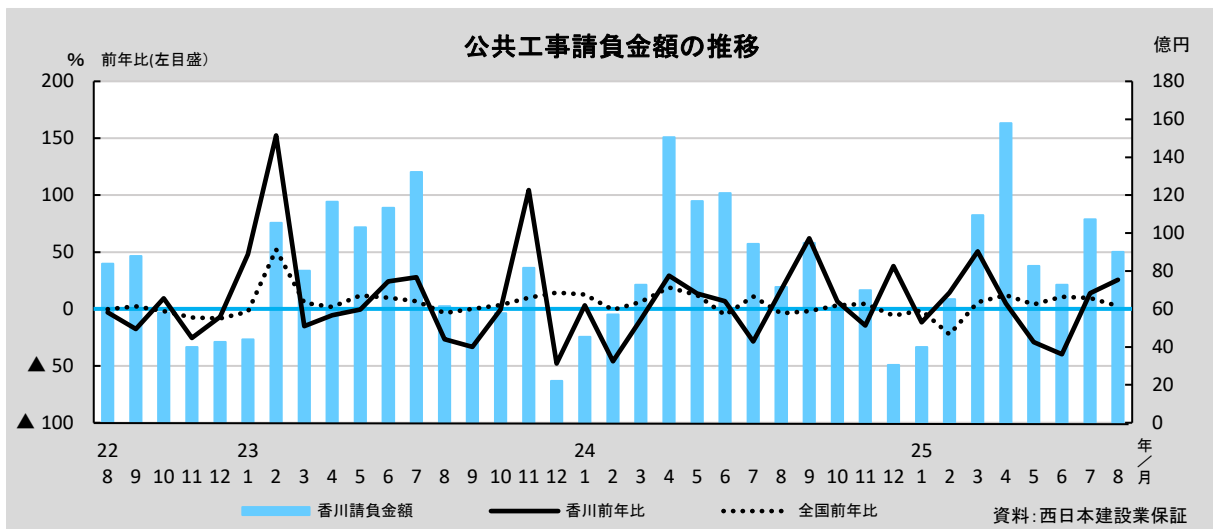
8月の新設住宅着工戸数は298戸で、前年同月比▲26.8%と2カ月連続で減少した。利用関係別にみると、**持家**で前年同月比▲8.3%、**貸家**で同▲69.7%、**分譲住宅**で同▲22.0%となった。

公共投資

持ち直しの動きに弱さがみられる

●公共工事請負金額

2 カ月連続増加



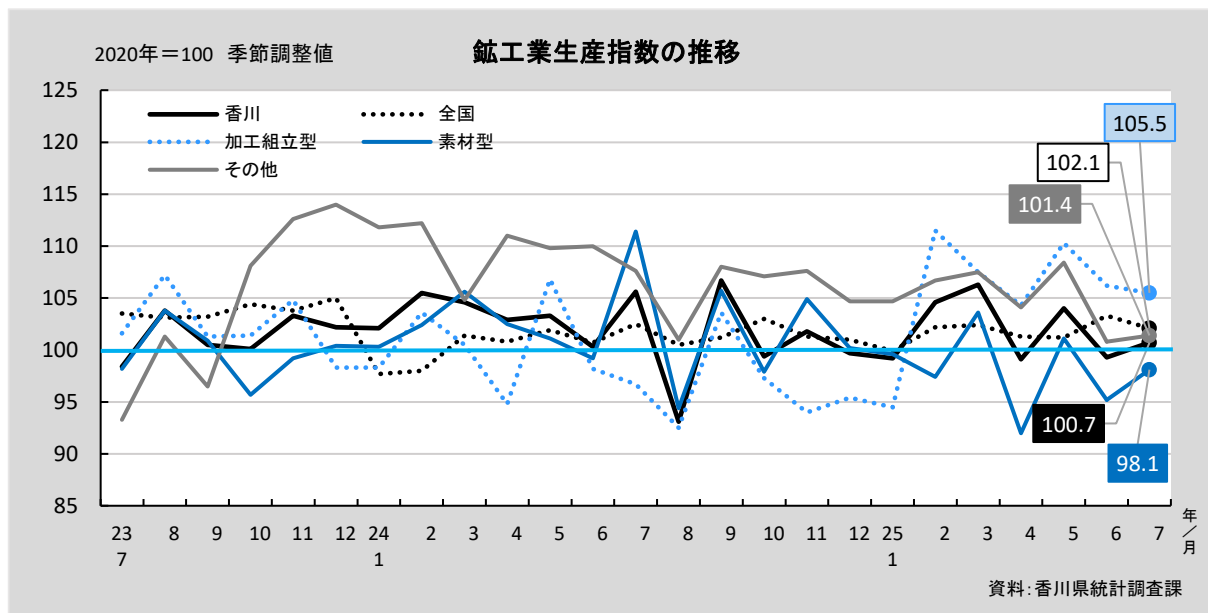
8月の公共工事請負金額は90.1億円で、前年同月比+25.7%と2カ月連続で増加した。発注者別にみると、**国・独立行政法人等**で前年同月比+60.1%、**県**で同▲29.6%、**市町**で同+108.7%となった。2025年度(4~8月)の累計では前年同期比▲7.9%と減少している。

生産活動

横ばい圏内の動きとなっている

● 鉱工業生産指数

2 カ月ぶり上昇 ↑



7月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は100.7（前月99.3）となり、2カ月ぶりに上昇した。

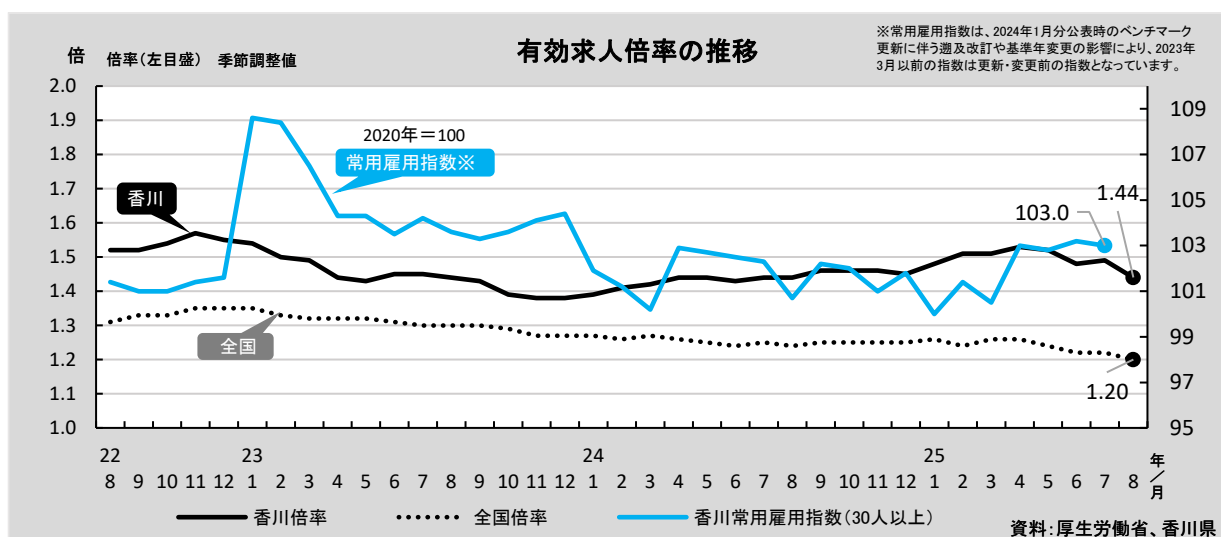
業種別では、その他業種の食料品工業（食用油など）は前月比+8.7%、加工組立型の電気機械工業（発光ダイオードなど）は同+12.8%と上昇した。一方、加工組立型の輸送機械工業（鋼船など）は同▲11.5%と低下した。

雇用情勢

緩やかに持ち直している

● 有効求人倍率

2 カ月ぶり減少 ↓



8月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.44倍（全国6位）で前月より0.05ポイント低下した。

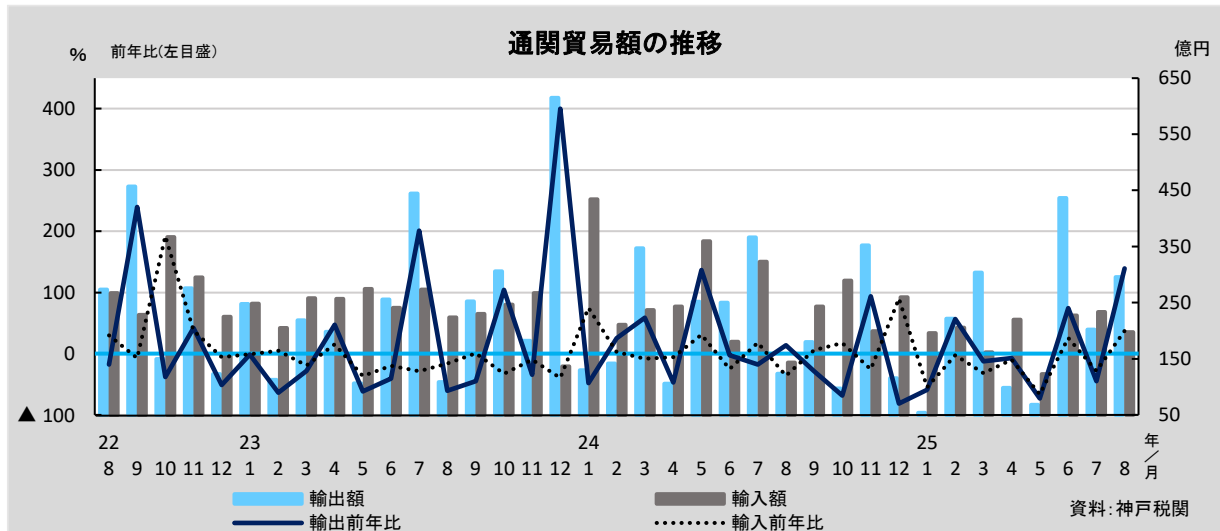
新規求人（原数値：前年同月比）は、教育・学習支援業、宿泊業・飲食サービス業、製造業等で減少となり、全体で▲2.9%と3カ月ぶりに減少した。

7月の常用雇用指数（事業所規模30人以上）は、103.0となり、前年同月比は+0.7と6カ月連続で増加した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業	2.08
事務的職業	0.61
販売の職業	2.48
サービスの職業	3.13
生産工程の職業	2.41
輸送・機械運転の職業	2.38
建設・採掘の職業	5.85
運搬・清掃・包装等の職業	1.24

貿易

輸出、輸入ともに増加している

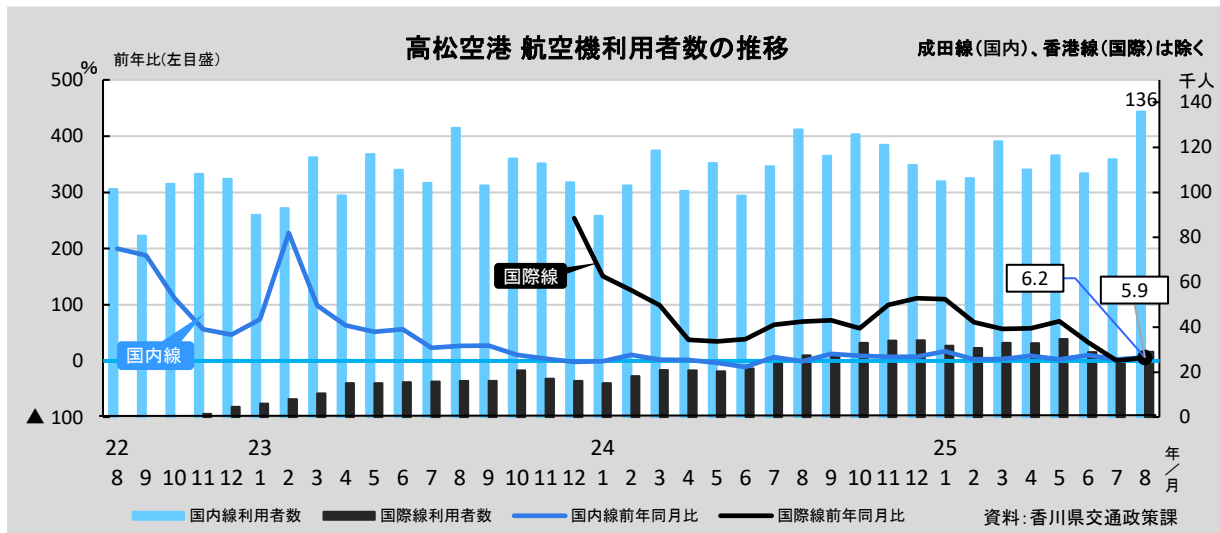


8月の輸出額は前年同月比+139.4%の295.7億円、輸入額は同+37.4%の197.3億円となり、差し引き98.4億円の出超となった。輸出は貨物船輸出額が前年同月比312.8倍の228億円となり増加に寄与した。輸入は前年ゼロだった液化天然ガス輸入額が44億円となり増加に寄与した。

交通

国内線は12カ月連続増加、国際線は22カ月連続増加

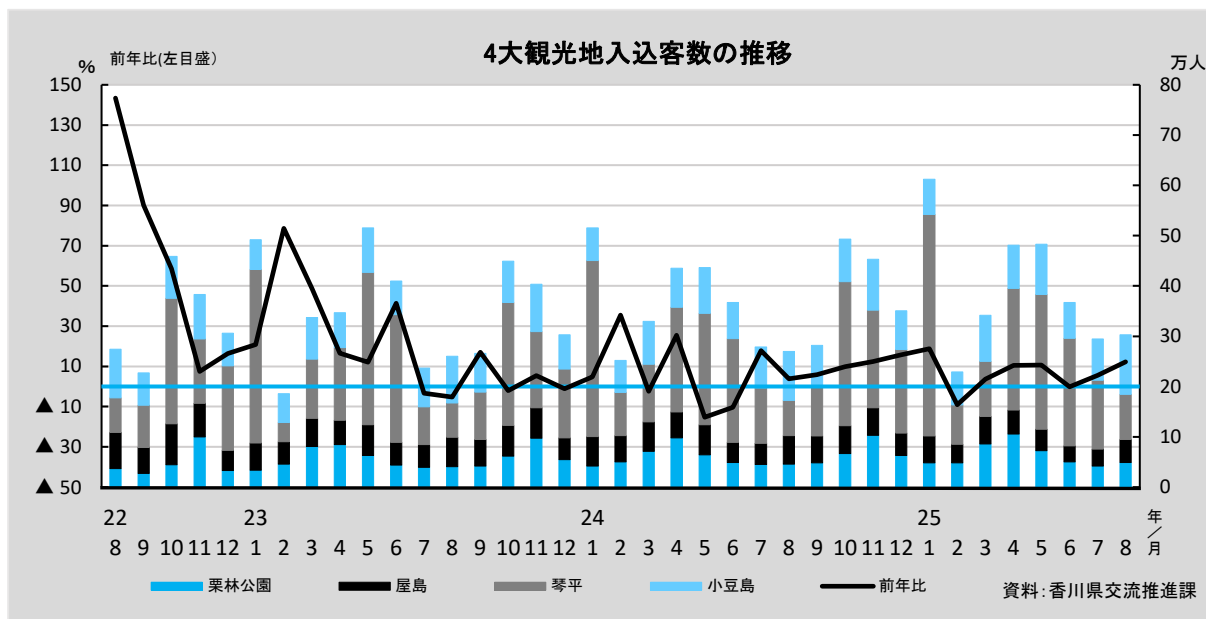
●高松空港旅客輸送実績



8月の航空機利用者数は、国内線(羽田・那覇線)が135,938人(前年同月比+6.2%)となり、12カ月連続で増加した。羽田線は126,352人(同+10.4%)、那覇線は9,586人(同▲28.9%)となった。

国際線は、ソウル線16,299人(同+2.2%)、上海線4,890人(同▲11.2%)、台北線7,926人(同+31.3%)で合計29,115人(同+5.9%)と22カ月連続で増加した。

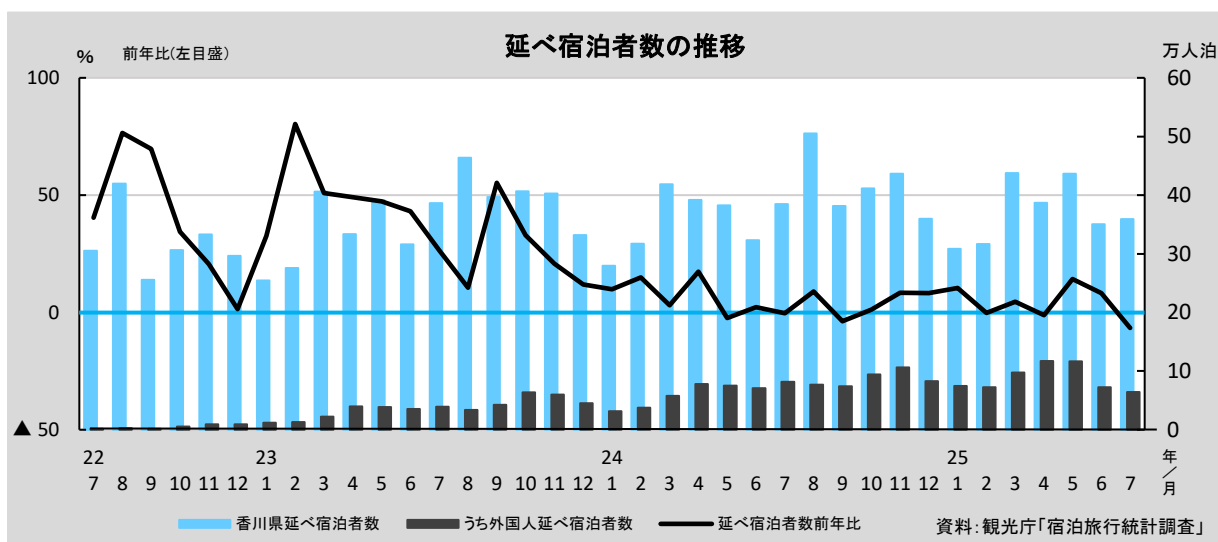
●主要観光地入込客数



観光地入込客数		栗林公園		屋島		琴平		小豆島		合計	
8月(人)	前年同月比	48,891	6.9%	45,807	▲18.9%	90,000	28.6%	118,189	21.0%	302,887	12.2%
1~8月累計(人)		500,516	7.6%	347,342	▲17.2%	1,579,000	15.5%	684,950	8.1%	3,111,808	7.9%

8月の主要観光地の入込客数は、前年同月比+12.2%と2カ月連続で増加した。琴平は前年同月比+28.6%、小豆島は同+21.0%と大幅に増加し、栗林公園も同+6.9%、と増加した。一方、屋島は同▲18.9%と8カ月連続で減少した。2025年(1~8月)の累計では前年同期比+7.9%と増加している。

●延べ宿泊者数



7月の延べ宿泊者数 359,510 人泊で、前年同月比▲6.7%と3カ月ぶりに減少した。うち、外国人延べ宿泊者数は 64,320 人泊となり、前年同月比▲21.4%と36カ月ぶりに減少した。